



まなび舎



「自助と共助」

校長 岡戸 良雄

7月5日(金)から6日(土)にかけて、本校では総合防災訓練を実施しました。大規模災害発災時に自分の生命を守るための知識や技能を習得すること、及び、家庭や地域・教職員・友人たちと連携協力をして、被災した場所において自分や他人の生命を守るための知識や技能を習得することを目的としています。「自助・共助」の精神が、生徒一人一人に伝わることを期待しています。消火器を作動させる訓練、AEDを用いた心肺蘇生訓練、起震車体験など、実際の災害を想定した訓練に生徒一人一人が真剣に取り組む様子が見られました。

東日本大震災から13年が経ちました。今なお東北地方で復興が進んでいるときに、能登半島地震が今年の元旦に発生しました。東京都においてこのような災害が発生した時、総合防災訓練で経験した知識や技能が生かされることを願っています。

宿泊防災訓練は今年度、1年生対象に実施しました。校長講話として「自宅にいるときと同じような環境ではありません。布団やベッドも今日は使えません。夕食や朝食も自分が食べたいものが提供されることもありません。こうした制限のある環境で一晩過ごすことが経験です」という内容を話しました。訓練当日は生徒同士が協力して就寝スペースを作ることや食事の準備、後片付けを行うことができました。

13年前の東日本大震災、今年の元旦に発生した能登半島地震の状況を見て、再び思い出したことがあります。震災が起きるまでは、蛇口をひねればあたりまえのように水が出ること、街中には自動販売機があり、冷たい飲み物がいつでも手に入ること、深夜であっても自分が欲しいものを購入できるコンビニエンスストアがあることなど、私自身も当然のことと感じていました。しかしながら、私たちが感じている「日常」は当たり前には存在するのではなく、この「日常」を維持するために様々な人々の不断努力が必要であり、提供されることで維持されているということです。

今回の総合防災訓練では、消防署、警察署、港区、港南防災ネットワーク、防災会の皆様、そしてPTAの皆様のご協力をいただき、訓練を無事に終えることができました。教職員を代表して御礼申し上げます。

エネルギー消費のピークを抑える一環として、都立学校全校で夏季休業日中に学校閉庁日を設けております。本校では8月13日(火)から16日(金)までを閉庁日とします。この4日間教職員は出勤しませんので、各種証明書などが必要な場合には、前もって申請をしてください。ただし、生徒に関する緊急の連絡は、学校携帯までお願いします。(学校から保護者の皆様に連絡がある場合には、クラッシーにてお伝えします。)皆様の御協力をお願いします。

学校からのお知らせ

【保護者の皆様へお願い】

学校閉庁日を以下のとおり設定しています。平日の17時から翌朝8時25分までは留守番電話対応となります。

学校閉庁日 8月13日(火)から8月16日(金)まで ※経営企画室の業務も行っておりません。

緊急の場合は、学校携帯に御連絡ください。 学校携帯 080-4781-4317

「総合防災訓練・宿泊防災訓練を終えて」

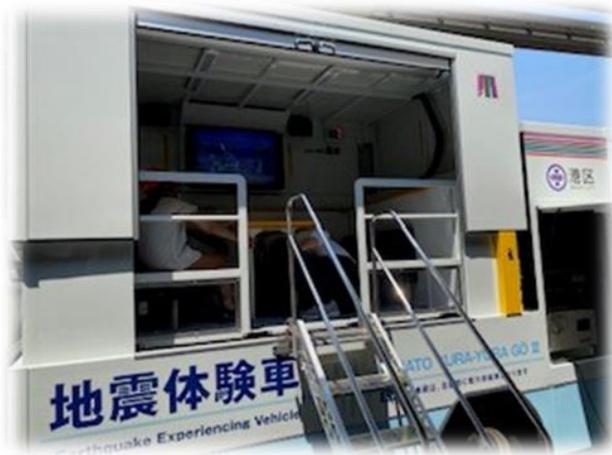
主幹教諭 鶴 浩司

7月5日(金)から6日(土)の朝にかけて、総合防災訓練・宿泊防災訓練を実施しました。当日には東京消防庁高輪消防署港南出張所、高輪消防署消防団、PTAの方々、関係各部署の皆様に御協力いただきました。

まず避難訓練を行い、その後、総合防災訓練を実施しました。総合防災訓練では、各学年・学科に分かれ、起震車体験、消火体験、救急救命体験、防災学習の体験学習を行いました。起震車は港区から貸し出され、環境に配慮した電気駆動の起震車での取組でした。前後左右上下の3方向が振動するため、より実災害に近い体験をすることができました。

宿泊訓練は普通科・職能開発科の1年生が実施しました。停電を想定した居住空間・就寝空間づくり、暗闇体験、非常食体験を行いました。夕食は、カレーライス、朝食はそのまま食べるライスクッキーとシチューでした。

引き取り訓練では保護者の皆様に来校していただき、災害時の引き渡しの流れを確認することができました。御支援ありがとうございました。



「がん教育について」

9月5日(木)から12月16日(月)に変更になりました。御承知おきお願いいたします。